

6 歯の健康

実施したい目標	指 標	高浜市		愛知県		国		指標・目標数値の考え方		
		現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値			
実施したい目標	食事や会話ができる歯でいよう	8020運動を知っている人の割合	43.7%	100%	50.5%	100%		8020運動が始まり14年経過した時点でほぼ50%であることから、あと8年間で倍の目標値とする。		
	8020をめざそう									
生活スタイルの提案 (市民の取り組み)	おやつのおげ方を工夫しよう	1. 甘い物の回数を決めよう	33.2%	17%以下	23.0%	12%以下		1歳6か月児健康診査の結果を使うことにより現状把握ができるため、現状値の5割減を目標値とした。		
		2. 甘い飲み物の代わりにお茶などを飲ませよう	52.8%	26%以下	39.0%	20%以下				
	歯に関心をもとう	3. 子どもの歯と口の中を観察しよう	歯みがきを1日2回以上する人の割合	52.2%	78%以上			歯の関心を高めるには、歯みがきの回数を増やすことが必要のため、5割増を目標値とする。		
		4. 歯や歯肉を自分で観察しよう								
		5. バランスのとれた食事をよく噛んで食べよう								
	口の中の手入れをしよう	6. 子どものむし歯予防のため、フッ化物を積極的に利用しよう	フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の割合(2歳児)	51.7%	85%以上	52.8%	85%以上	3歳児 39.6%	3歳児 50%以上	フッ化物の応用がう蝕予防に効果的なことは多くの文献で示されている。フッ化物の歯面塗布が比較的普及していることから、約30ポイント増を目標値とする。
			1人平均むし歯数(12歳) 愛知県歯科医師会「学校歯科保健調査」(平成13年度)	2.1本	1本以下	2.2本	1本以下	2.5歯	1歯以下	現状値は県と同値のため、現状値の50%減を目標値とする。
		7. 食後と寝る前に歯をみがこう	歯みがきを1日2回以上する人の割合	52.2%	78%以上					歯みがきを1日2回以上する人の割合と同様
		8. マイ歯ブラシを持ち歩く習慣をもとう	マイ歯ブラシを持ち歩く人の割合	未	未					平成15年度以降調査予定
		9. デンタルフロス、歯間ブラシを使おう	歯間部清掃用器具を使用する人の割合	11.3%	23%以上	16.0%	32%以上	40歳 19.3% 50歳 17.8%	40歳 50%以上 50歳 50%以上	現状値は国の目標値より低いいため、現状値の倍を目標値とする。
		10. かかりつけ歯科医をもとう	かかりつけ歯科医がいる人の割合	41.0%	80%以上	47.1%	90%以上			医療保険でかかりつけ歯科医が制度化されたことに伴い、今後急速に普及することを想定し8年間で倍を目標値とする。
11. 歯科健診を受けよう	定期的に歯科の健康診査を受けている人の割合	9.3%	19%以上	13.8%	27%以上	60歳 16.4%	60歳 30%以上	現状値は国の目標値より低いいため、現状値の倍を目標とする。		
団健康づくりに取り組む環境の提案 (行政、健康関連)	1. 子どものむし歯予防を推進します	むし歯のない幼児の割合(3歳児)	75.0%	95%以上	68.5%	90%以上	59.5%	80%以上	県のデータでは3歳のむし歯のない児の状況は10年間でおよそ20ポイント増加している。このことから県は10年後は現状の20ポイント増としている。県と同様20ポイント増を目標値とする。	
	2. フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口などフッ化物の利用を促進します	フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の割合(2歳児)	51.7%	85%以上	52.8%	85%以上	3歳児 39.6%	3歳児 50%以上	子どものむし歯予防のため、フッ化物を積極的に利用しようと同様	
		1人平均むし歯数(12歳) 愛知県歯科医師会「学校歯科保健調査」(平成13年度)	2.1本	1本以下	2.2本	1本以下	2.5歯	1歯以下	子どものむし歯予防のため、フッ化物を積極的に利用しようと同様	
	3. 歯周病を予防するため、ブラッシング、歯間部清掃用器具(デンタルフロス、歯間ブラシ)などに関する知識の普及啓発に努めます	歯みがきを1日2回以上する人の割合	11.3%	23%以上	16.0%	32%以上	40歳 19.3% 50歳 17.8%	40歳 50%以上 50歳 50%以上	デンタルフロス、歯間ブラシを使おうと同様	
4. 成人歯科健康診査の受診率の向上に努めます	受診の割合	4.6%	6%以上					高齢者保健福祉計画で示している平成19年度目標値を目標とする。		